

令和3年度第2回かわさきパラムーブメント推進フォーラム 次 第

日時：令和4年3月23日（水）

10時00分～11時30分

会場：川崎市役所 第3庁舎18階 大会議室

- 1 あいさつ
- 2 かわさきパラムーブメント及び英国ホストタウンにおける今年度の主な取組
・・・資料1、2
- 3 かわさきパラムーブメントにおける来年度の主な取組
・・・資料3
- 4 その他

【資 料】

- ・ 座席表
- ・ かわさきパラムーブメント推進フォーラム委員等名簿
- ・ 2020東京オリンピック・パラリンピックに向けたかわさきプロジェクト
外部連携会議開催運営等要綱
- ・ 資料1 かわさきパラムーブメントにおける今年度の主な取組について
- ・ 資料2 英国ホストタウンにおける今年度の主な取組について
- ・ 資料3 かわさきパラムーブメントにおける来年度の主な取組について

かわさきパラムーブメント推進フォーラム 委員名簿

令和3年4月1日現在

●共同委員長

氏名	役職等
ふくだ のりひこ 福田 紀彦	川崎市長
なりた まゆみ 成田 真由美	パラリンピアン 川崎市市民文化大使

●顧問

(五十音順)

いとう こういち 伊藤 弘一(新任)	公益財団法人日本オリンピック委員会 事務局次長
なかもり くにお 中森 邦男	日本パラリンピック委員会 事務局長

委員

(五十音順)

えんどう けん 遠藤 謙	株式会社サイボーグ 代表取締役社長
おおつか くんべい 大塚 訓平	株式会社オーリアル 代表取締役
おぐら けいこ 小倉 敬子	公益財団法人かわさき市民活動センター 理事長
きくち ただし 菊地 正	特定非営利活動法人高津総合型スポーツクラブSELF 副理事長
くまかべ ごろう 草壁 悟朗	川崎商工会議所 会頭
くりやま やすこ 栗山 八寿子	市立長沢中学校 校長
すぎやま なおみ 杉山 尚美	株式会社ぐるなび 理事
すどう シンジ 須藤 シンジ	特定非営利活動法人ビーブルデザイン研究所 前代表理事
せとやま しょうじ 瀬戸山 正二	有限会社オフィスブライヤ 代表取締役
ただ あきひこ 多田 昭彦	公益財団法人川崎市文化財団 理事長
たんの のりかず 丹野 典和	公益財団法人川崎市スポーツ協会 事務局長
どき かずし 土岐 一利	株式会社チッタエンタテインメント 取締役
なかざわ まこと 中澤 信	株式会社バリアフリーカンパニー 代表取締役社長
やまざき りょう 山崎 亮	株式会社studio-L 代表取締役 (公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 街づくり・持続可能性委員会 委員
ゆあさ まなみ 湯浅 真奈美	ブリティッシュカウンシル アーツ部長
わたなべ しゅうじ 渡部 修治	公益財団法人川崎市身体障害者協会 事務局長

2020東京オリンピック・パラリンピックに向けたかわさきプロジェクト外部連携会議開催運営等要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、東京オリンピック・パラリンピックに向けたかわさきプロジェクト外部連携会議（以下「会議」という。）の運営に関し、必要な基本事項を定める。

(目的)

第2条 市長は、東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、誰もが暮らしやすく、多様な主体の協働による新しい社会の構築をめざす「かわさきパラムーブメント」の基本理念の具現化にあたり、次に掲げる事項について、会議委員の意見を求める。

- (1) スポーツ・健康
- (2) ダイバーシティ（多様性）
- (3) 文化
- (4) 地域活動・ボランティア
- (5) 社会・経済
- (6) エンターテインメント
- (7) 福祉
- (8) おもてなし
- (9) その他、市の発展に資する事柄

(会議の構成者)

第3条 会議は、次に掲げる者で構成する。

- (1) 学識経験者
- (2) 関係団体代表者
- (3) 市民

(開催期間)

第4条 会議の開催期間は、平成28年10月1日から令和4年3月31日までの期間とし、必要に応じて開催することとする。

(庶務)

第5条 会議の庶務は、市民文化局オリンピック・パラリンピック推進室において処理する。

附 則

この要綱は、平成27年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年3月17日から施行する。

令和3年度第2回かわさきパラムーブメント推進フォーラム

座席表 (第3庁舎18階大会議室)

【リモートによる参加者】

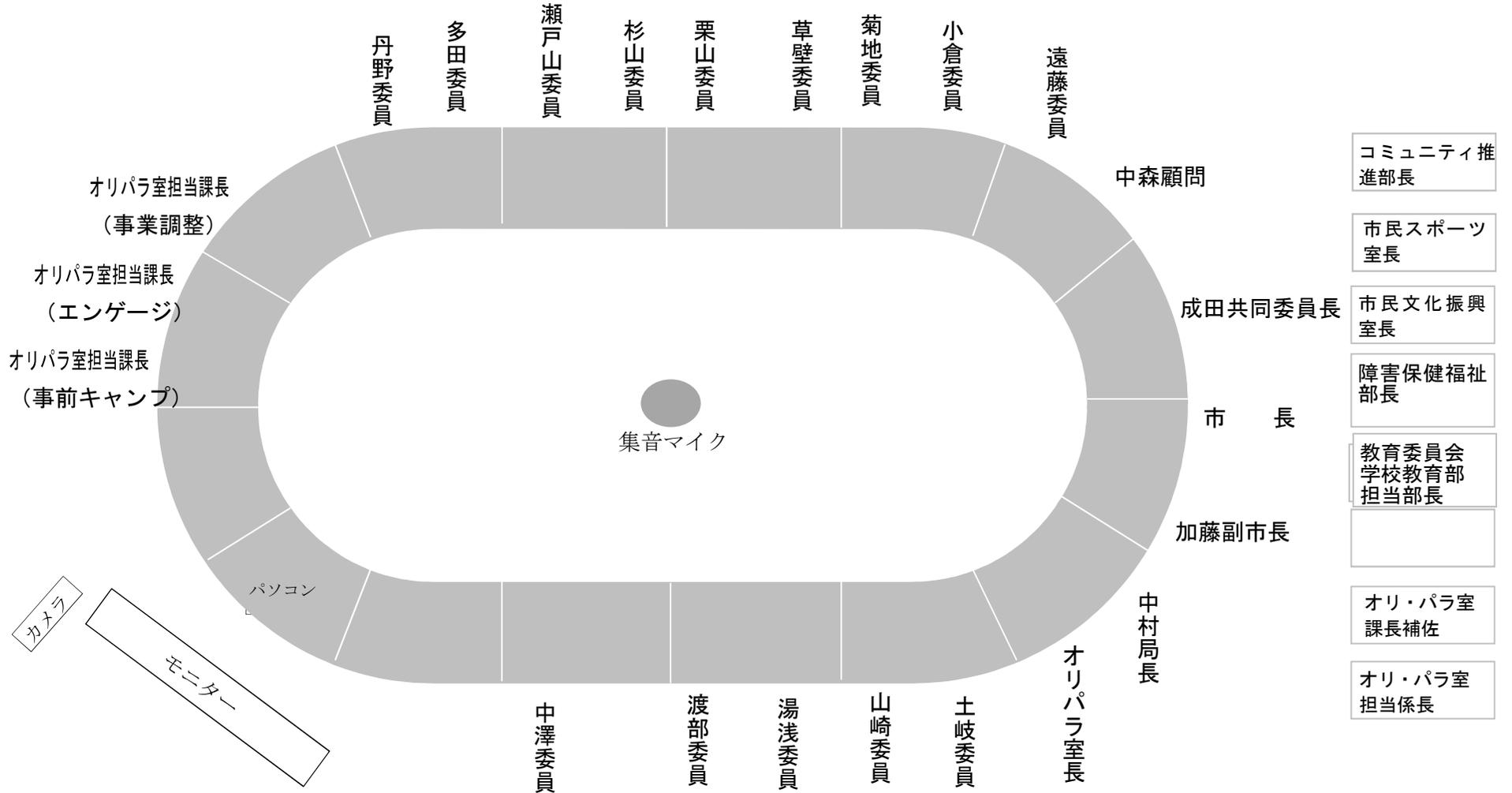
伊藤顧問
大塚委員
須藤委員

オリ・パラ室
職員

議事録作成
業者

傍聴席

オリ・パラ室
職員



出入口

出入口

1 かわさきパラムーブメントフォーラム

実施目的

川崎市が、英国のホストタウンとして、英国選手団受入の実績や知見を「かわさきパラムーブメント」の更なる展開にどのようにつなげていくのかを考え、共通認識を醸成する場とするために開催した。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す4つのレガシー形成へ

- レガシー①多様性を尊重する社会をつくる子どもを育むまち
- レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～
- レガシー④誰もがスポーツ・運動に親しんでいるまち
- レガシー⑤誰もが文化芸術に親しんでいるまち

タイトル 東京大会を終えて 共生社会へ向けた新たな幕開け
開催日時 令和4年2月20日（日）13時～16時15分
場所 KCCIホール（川崎フロンティアビル2階）
参加者 会場参加者 44名、オンライン配信延べ視聴回数 約200回

プログラム

- プログラム① 英国代表チーム事前キャンプ活動報告
英国代表チーム川崎キャンプサポーター、川崎市市民文化局オリンピック・パラリンピック推進室
- プログラム② 御手洗潤氏による講演
東北大学大学院法学研究科教授（元内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局参事官） 御手洗潤氏
- プログラム③ ブリティッシュ・スクール・イン東京によるオリパラプログラムの取組についての発表
ブリティッシュ・スクール・イン東京 副学校長、学生
市立東柿生小学校によるパラムーブメントに関する取組発表
市立東柿生小学校5年生
- プログラム④ 英国ドレイク・ミュージックとの音楽プロジェクト発表
ブリティッシュカウンシル 秋元七生氏
ヴァイオリニスト 南條由起氏
かわさきパラムーブメントの方向性紹介
川崎市市民文化局オリンピック・パラリンピック推進室
- プログラム⑤ コメンテーターによるまとめ



フォーラムの様子



市立東柿生小学校による発表



英国ドレイクミュージックとの音楽プロジェクト発表

2 店舗等におけるかわさきパラムーブメント実践事業

実施目的

障害者、外国人、高齢者をはじめとした店舗利用者に対し、ソフト面及びハード面のバリアフリーに対応している店舗を発信し、誰もが店舗を利用しやすいまちを目指していく。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す2つのレガシー形成へ

- レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～
- レガシー③社会的バリアが解消されたまち～ユニバーサルなまち～

実施概要

【かわさきパラムーブメント実践店】

市内店舗がソフト面又はハード面のバリアフリーに対応していることを、「かわさきパラムーブメント実践店」として、ステッカーの掲出、本市HPでの掲載等を通じて発信する。セブンイレブン等のコンビニエンスストア、郵便局、金融機関等、市内**818**店舗が登録済。



ステッカー

【バリアフリー情報発信】

店舗が自らバリアフリー状況調査を簡便に実施できる「バリアフリー状況確認キット」を作成した。店舗は、「入力シート」に数値等を入力するだけで簡単に作成される「インフォシート」を通じ、自身の店舗のバリアフリー情報の発信が可能。申請や登録などは不要で、市HPからダウンロードし、自由に利用することができる。



インフォシート

〈主なアクセシブル情報〉

- ・駐車場
- ・エントランス
- ・店内（テーブル、通路等）
- ・トイレ 等



めざせ！やさしさ日本代表！

かわさきパラムーブメント

かわさきパラムーブメントにおける今年度の主な取組について②

3 庁内職員を対象とした心のバリアフリーに関する研修

実施目的

職員一人ひとりが心のバリアフリーについて考え、自分ごととすることで、庁内におけるかわさきパラムーブメントの理念を浸透させるために実施した。

⇒レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～の形成へ

【心のバリアフリー研修】

実施概要

局長級職員を主な対象として「心のバリアフリー」をテーマとした研修（講義及びグループワーク）を実施し、27名が受講した。

日時 令和3年11月1日（月） 13時45分～16時15分

場所 第3庁舎7階災害対策本部事務局



心のバリアフリー研修の様子

【ユニバーサルマナー研修】

実施概要

全庁の職員を対象としたユニバーサルマナー研修を実施し、87名が受講した。

日時（場所）・受講者数

日程① 令和4年1月17日（月） 9時00分～11時30分（麻生区役所） 26名受講

日程② 令和4年1月18日（火） 13時45分～16時15分（川崎市役所第3庁舎） 28名受講

日程③ 令和4年1月20日（木） 13時45分～16時15分（川崎市総合自治会館） 33名受講

4 心のバリアフリーに係るエピソード発信事業

実施目的

市民が自ら実践、体験、発見した「心のバリアフリー」に該当する行動等のエピソードの発信を通じて、発信者及び受信者の「心のバリアフリー」に対する理解の深化及び実践等への行動変容につなげていく。

⇒レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

実施概要

市民が実践した、受けた、発見した「心のバリアフリー」に該当する行動等のエピソードを募集し、市HPで「心のバリアフリーエピソード集」として1ヶ月ごとに発信。また、四半期ごとに、投稿エピソードの中から「みんなに実践してほしいエピソード」を選定し、市HP上で公表する。

実施期間 令和2年11月～令和4年3月

累計 応募件数111件

「みんなに実践してほしいエピソード」として選定された事例

- ・視覚障害者に、駅で乗車する電車をサポートした事例
- ・手話を教えた相手が、バイト先で実際に手話を使用した事例 他



エピソードの紹介HP

5 感覚過敏の方を対象としたバリアフリー化事業

実施目的

発達障害に多く見られる感覚過敏のある方が安心して買い物等に行ける環境を整備することや、社会における発達障害や感覚過敏の認知度を高めるために実施した。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す2つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー③社会的バリアが解消されたまち～ユニバーサルなまち～

【クワイエットアワー実施に向けた取組】

実施概要

商業施設等がクワイエットアワーを実施できるよう、障害当事者や市内の店舗へのヒアリング結果や、専門家の意見等を取り入れた「クワイエットアワー実施のためのサポートブック」やポスターを作成し、誰でもダウンロードして使用できる形で市HPで公開した。



サポートブックのダウンロード

6 バリアフルレストラン in 川崎アゼリア

実施目的

“障害は社会が作り出す”という「障害の社会モデル」の考え方を体感して学んでもらうことを目的に、車いす使用者が多数派、「二足歩行者」が少数派である社会を体験できる場を設けた。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す3つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

日程 令和4年3月21日（月・祝） 10時00分～17時30分

場所 川崎アゼリア サンライト広場

内容 バリアフルレストラン体験プログラム（※）、見学、パネル展示

参加人数 約450名（うち体験プログラム参加者35組）

※1回6人上限で6回実施



入口



バリアフルレストラン内部



めざせ！やさしさ日本代表！

かわさきパラムーブメント

かわさきパラムーブメントにおける今年度の主な取組について③

7 eスポーツを活用した体験イベント（障害者のためのチャレンジ！eスポーツ）

実施目的

障害のあるなしに関わらず誰もが一緒にスポーツを「する」「みる」ことができるインクルーシブな社会の実現を目指し、健常者と障害者が垣根無く一緒にスポーツを楽しめるツールであるeスポーツを活用した体験イベントを開催した。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す3つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー④誰もがスポーツ・運動に親しんでいるまち

実施概要①

日時 令和4年2月23日（水・祝） 13時～16時30分

場所 中原区役所

参加人数 19組48名

- 実施内容
- ・ぶよぶよeスポーツ対戦
基本操作等のレクチャーや参加者同士による対戦
 - ・ぶよぶよeスポーツ個別レッスン
上達するためのテクニック等を、トップeスポーツプレイヤーがレクチャー
 - ・保護者向けセミナー
3つのテーマに沿った講師を招き、興味のある方が聴講
(1) これまでのeスポーツと今後の展望
(2) 障害のある方のeスポーツの楽しみ方
(3) eスポーツにおけるプロの世界



個別レッスンの様子

実施概要②

日時 令和4年3月12日（土） 13時～15時

場所 エジソン放課後 高津（放課後等デイサービス事業所）

参加人数 15名（一部オンライン参加）

- 実施内容
- ・プロeスポーツプレイヤーとの対戦
SCARZ所属のL1se（リセ）選手とオンラインで対戦
 - ・プロeスポーツプレイヤーとのオンライン交流会
オンライン対戦後に参加者からプロeスポーツプレイヤーに質問



オンライン対戦の様子

実施概要③

日時 令和4年3月21日（月・祝） 10時00分～17時00分

場所 川崎ルフロン 1階イベントスペース

参加人数 344名（うちオンライン視聴者 143名）

- 実施内容
- ・eスポーツ体験ブース
フレックスコントローラーを使用したeスポーツ体験
 - ・個別相談ブース
障害のある方などに向けた、eスポーツができるようになるための個別相談
 - ・エキシビジョンマッチ及びトークセッション
プロeスポーツプレイヤーと障害のあるeスポーツプレイヤーによるぶよぶよeスポーツのオンライン対戦、及びトークセッション



フレックスコントローラー

8 パラスポーツやってみるキャラバン

実施概要

パラスポーツや障害への理解促進を目指し、パラスポーツの魅力を子どもたちに体感してもらう参加型の体験講座を公立小学校及び公立中学校・私立小・特別支援校・寺子屋で実施。

当初は令和2年度中に公立小学校全校での実施を目指していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け持ち越しとなり、今年度中に達成した。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す3つのレガシー形成へ

レガシー①多様性を尊重する社会をつくる子どもを育むまち

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー④誰もがスポーツ・運動に親しんでいるまち

実施年度	実施校数
平成28年	11
平成29年	18
平成30年	21
令和元年	37
令和2年	12
令和3年	28
合計	127



車いすバスケットの体験の様子

9 親子サッカー教室&パブリックビューイング

実施目的

見た目ではわかりにくいことなどから、周囲から誤解を受けやすいと言われている発達障害に対する理解の促進や誰もがスポーツや旅行が楽しめる社会の実現を目指していく。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す3つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー③社会的バリアが解消されたまち～ユニバーサルなまち～

レガシー④誰もがスポーツ・運動に親しんでいるまち

実施概要

昨年に引き続き川崎フロンターレ、JTB、ANA、富士通と本市が連携し、運営スタッフが発達障害に関する研修を事前に受講することや参加者が静かに落ち着くことのできる「スヌーズレン」を設置することなどで、安心して参加できる環境を整え、実施した。

開催日 令和3年11月20日（土）

場所 等々力陸上競技場

参加者 15組45名
（うち子ども21名）



パブリックビューイング



サッカー教室



めざせ！やさしさ日本代表！

かわさきパラムーブメント

かわさきパラムーブメントにおける今年度の主な取組について④

10 個人型トップアスリート助成制度

実施目的

川崎市に縁のある選手が神奈川県や競技団体などの支援や強化指定を経て、将来的に各種世界大会等で活躍することで、それを見た市民に感動と喜び、夢を与え、シビックプライドを醸成するとともに、スポーツへの関心を高めることを目的として、選手個人に対して、対象経費の一部を助成するもの。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す2つのレガシー形成へ

レガシー④誰もがスポーツ運動に親しんでいるまち

レガシー⑨知名度・プレゼンスが高まった川崎

【令和3年度実績】

募集期間 令和3年4月27日（火）～同年5月21日（金）
令和3年7月12日（月）～同年7月26日（月）（追加募集）

交付決定日 令和3年6月22日（火）
令和3年9月 1日（水）（追加募集分）

交付決定者 6競技10名（パラ水泳、ボッチャ、スポーツクライミング、フェンシング、BMX、体操競技）

11 障害者音楽フェスティバル（かわさきパラコンサート2021）

実施目的

障害などのあるなしに関わらず誰もが音楽等を楽しむ機会を通じて、お互いを理解・尊重し、多様性を受け入れる社会を目指すことを目的として開催した。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す2つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー⑤誰もが文化芸術に親しんでいるまち

開催日時 令和3年5月29日（土） 13時30分～15時30分

場 所 川崎市スポーツ・文化総合センター（カルッツかわさき）

参 加 者 約800名

内 容 ダウン症で心臓疾患を持った方が公演の主役を務めた和太鼓や日舞等の風の祭典や、7本指で演奏するピアニスト西川悟平氏による演奏の他、手話パフォーマー等で構成された HANDSIGNによるパフォーマンス等を行った。

そ の 他 点字プログラムの配布や手話通訳が行われたほか、座席に設置されたポーチやクッションからの振動により音を体感することができる「体感音響システム」を導入した。



パラコンサートの様子



12 Colors かわさき展

実施目的

かわさきパラムーブメントの目指す社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）の実現に向け、アートを通じて、作者の障害のあるなしに関わらず、ありのままの作品の魅力を感じてもらおうことを目指す。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す2つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー⑤誰もが文化芸術に親しんでいるまち

実施概要

公募（施設・団体・個人）による約100名のアーティストや市立特別支援学校の子どもの計147作品を展示。事前に特別支援学校や障害福祉施設へ講師を派遣し、絵画制作指導にも取り組んだ。なお、初めて協賛金を募り、制作指導で使用する画材等に充当した。

本展会期中には、アーティストによる「ワークショップ」や「パラアート・ミーティング」を開催。今年度も作品の一部を、展覧会終了後入札により、購入可能とした。

閉会後は「おうちで Colors かわさき展」と題し、インターネット上で図録のデータをギャラリー風に無料公開するとともに、360°カメラで撮影した会場風景も公開。

さらに、初の試みとして巡回展を実施し、グランツリー武蔵小杉で30作品を、また5両の市バス車内において計75作品を展示し、多くの市民に気軽にパラアートを鑑賞いただく機会を提供した。

期間（会場）

本展：令和3年11月12日（金）～21日（日）（ミュージアム川崎展示室）

巡回展：令和3年12月17日（金）～19日（日）（グランツリー武蔵小杉）

令和3年10月26日（火）～11月22日（月）（市バス）

おうちでColors かわさき展：令和3年11月24日（水）から公開中（終期未定）

来場者数

本展：1,087名

巡回展：グランツリー武蔵小杉・約3,500名

市バス・延べ乗車人数約39,000名（展示実施台数5台）

おうちでColors かわさき展：518ビュー（令和4年3月11日現在）



絵画制作指導 ゆたかカレッジ武蔵中原校



本展の様子



市バス車内での巡回展



グランツリー武蔵小杉での巡回展





めざせ！やさしさ日本代表！

かわさきパラムーブメント

かわさきパラムーブメントにおける今年度の主な取組について⑤

13 ブリティッシュ・カウンシルとの連携事業

実施目的

英国の公的な国際文化交流機関ブリティッシュ・カウンシルと連携し、あらゆる人が音楽に親しみ、創造性を発揮できる社会の実現を目的に実施した。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す3つのレガシー形成へ

- レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～
- レガシー⑤誰もが文化芸術に親しんでいるまち
- レガシー⑦誰もが職業等を通じて社会参加できる環境

【ドレイク・ミュージックによる

「すべての人に開かれ、誰もが参加できる音楽文化の創造に向けたプログラム」】

ドレイク・ミュージックから指導を受けた日本の音楽家が特別支援学校を訪問し、生徒たちと音楽づくりのワークショップを行った。

また、ワークショップから生まれた「かわさき組曲」を東京交響楽団がフェスタサマーミュージザKAWASAKI2021最終日の令和3年8月9日（月・祝）にミュージザ川崎シンフォニーホールで演奏した。

（ワークショップ実施概要

場所	日時①	日時②	日時③	日時④	日時⑤
中央支援学校	5/25 (火) 生徒7名 教員6名 音楽家2名 東響1名	6/8 (火) 生徒8名 教員5名 音楽家2名 東響4名	6/15 (火) 生徒8名 教員6名 音楽家2名 東響4名	7/6 (火) 生徒8名 教員5名 音楽家2名 東響1名	7/13 (火) 生徒8名 教員5名 音楽家3名 東響1名
田島支援学校 グループ1	5/31 (月) 生徒7名 教員4名 音楽家2名 東響2名	6/7 (月) 生徒7名 教員4名 音楽家2名 東響3名	6/21 (月) 生徒6名 教員4名 音楽家2名 東響3名	6/24 (木) 生徒7名 教員4名 音楽家2名 東響1名	7/15 (木) 生徒6名 教員4名 音楽家4名 東響1名
田島支援学校 グループ2	5/31 (月) 生徒5名 教員4名 音楽家2名 東響2名	6/7 (月) 生徒4名 教員4名 音楽家2名 東響3名	6/21 (月) 生徒5名 教員4名 音楽家2名 東響3名	6/24 (木) 生徒5名 教員4名 音楽家2名 東響1名	7/15 (木) 生徒4名 教員4名 音楽家4名 東響1名
田島支援学校桜校	6/2 (水) 生徒5名 教員4名 音楽家2名 東響2名	6/9 (水) 生徒5名 教員4名 音楽家2名 東響3名	6/16 (水) 生徒5名 教員4名 音楽家2名 東響3名	6/23 (水) 生徒4名 教員4名 音楽家1名 東響2名	7/14 (水) 生徒5名 教員4名 音楽家4名 東響1名



中央支援学校でのワークショップ



田島支援学校でのワークショップ



田島支援学校桜校でのワークショップ

14 かわパラ2022 パラパーク

実施目的

パラスポーツや障害への理解促進、かわさきパラムーブメントの理念浸透等を目的としたイベントを開催した。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す3つのレガシー形成へ

- レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～
- レガシー④誰もがスポーツ・運動に親しんでいるまち
- レガシー⑤誰もが文化芸術に親しんでいるまち

実施概要

気軽にパラスポーツ体験ができ、パラリンピアンとのトークや音楽ライブ、英国発祥のクリケットの体験などが楽しめるイベントを実施した。

開催日時 令和4年3月21日（月・祝）11時～17時

場所 ラゾーナ川崎プラザ ルーフ広場

実施内容 パラスポーツ体験、パラリンピアンのパフォーマンス&トーク、ダンスパフォーマンス等各種ステージプログラム、かわさきパラムーブメント紹介展示など

参加人数 約2,350名



会場全体の様子



パラリンピアン講演の様子



ポッチャ体験の様子



クリケット体験の様子



めざせ！やさしさ日本代表！

かわさきパラムーブメント

かわさきパラムーブメントにおける今年度の主な取組について⑥

15 かわさきパラムーブメントに係る意識調査

実施目的

かわさきパラムーブメントに対する市民の意識を多面的に調査することにより、市民のかわさきパラムーブメントに対する認知度やレガシーの達成度等を明らかにし、方針や施策の企画立案の参考とすることを目的として市民向けのアンケート調査を実施した。

実施期間

令和3年12月10日（金）～令和3年12月24日（金）

調査概要

①市民向けインターネットモニター調査

対象者 インターネットアンケートサイトに登録している市民
回答方法 アンケートフォーム（楽天インサイト）で回答
回答数 1,000件（うち障害者手帳所持者による回答44件）

②障害当事者向けアンケート調査

対象者 市民のうち身体障害者手帳所持者（約120名）、療育手帳所持者（約36名）、精神障害者保健福祉手帳所持者（約44名）計約200名
回答方法 調査票の記入または本市アンケートフォームで回答
回答数 41件（内訳：身体19件、療育9件、精神13件）

③中学校向けアンケート調査

対象者 第2期推進ビジョンの期間中に小学校及び中学校それぞれ2年間の教育を受けている市立中学校の2年生約9,900名
回答方法 GIGAスクール用端末で回答
回答数 5,302件

調査結果（抜粋）

- ▶ 「生活する上で、あなた自身はバリア（障壁）を感じますか。」という質問に、「はい」と回答した割合 **29.3%**
- ▶ 「（東京2020パラリンピックを観て）障害者に対する理解や意識の変容はありましたか。」という質問（①市民向けインターネットモニター調査のみ）に、「変化があった」と回答した割合 **51.0%**
- ▶ 「困っている人を見かけた場合、自分から積極的に声をかける・手助けするなど、行動することはできますか。」という質問（③中学校向けアンケート調査のみ）に「できる」と回答した割合 **47.0%**

16 合理的配慮の提供等に関する基本方針の策定

策定目的

障害者差別解消法に基づき、行政機関に義務付けられている合理的配慮の提供における本市の基本的な考え方やあるべき姿等を全ての職員が理解し、個々の考えにばらつきがないよう合理的配慮の提供を行うために策定した。

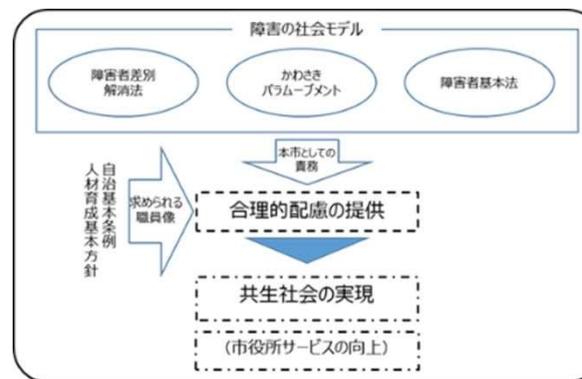
概要

合理的配慮の提供に向けた基本的な考え方、職員のあるべき姿、進行管理、本市の管理体制について定めたもの。

本方針の策定に伴い、職員が合理的配慮の提供を適切に行うための必要事項を定めるために、障害者差別解消法に基づき策定した「川崎市における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」は廃止し、職員が実際に合理的配慮の提供を行う際の参考となる対応事例集として作成した「障害のある方へのサポートブック」は合理的配慮の提供を求められた際に、職員が最低限実施しなければならない具体的な行動事例を示すものとして位置づけた。

適用対象

直営施設、指定管理施設問わず市民が利用する全ての施設の職員（正規職員、会計年度任用職員、指定管理者等も含む）



基本方針及びサポートブック掲載ページ

17 かわさきパラムーブメント第2期推進ビジョンの見直し

概要

かわさきパラムーブメント第2期推進ビジョンについて、今年度で取組期間が終了するため、次年度以降の方向性を示したビジョンを策定するために見直しを行うもの。

考え方

かわさきパラムーブメント第2期推進ビジョンの「目指すもの」と「理念」は、共生社会を実現させるための目的や基本的な考え方を示したものであることから、次の推進ビジョンでも踏襲し、レガシーや取組期間について見直しを行うことで、共生社会の実現に向けたビジョンとして特化させる。

英国事前キャンプ受入れの概要

1 川崎市、横浜市、慶應義塾大学での事前キャンプ受入れ概要

●全体の規模

オリンピック代表チーム 約630人、パラリンピック代表チーム 約190人

●練習施設

川崎市：等々力陸上競技場 (Team GB/ParalympicsGB)

横浜市：横浜市国際プール (Team GBのみ)

慶應義塾大学：日吉キャンパス (Team GB/ParalympicsGB)

●宿泊施設

横浜市みなとみらい地区、慶應義塾大学日吉キャンパス内



2 川崎市における事前キャンプ受入れ結果

●英国オリンピック代表チーム

・スケジュール

サッカー (女子) 7月 9日 (金) ~16日 (金) 約 40人

ラグビー (男子) 7月16日 (金) ~21日 (水)

(女子) 7月19日 (月) ~24日 (土) 計 約 40人

陸上競技 7月16日 (金) ~8月1日 (日) 約120人

・大会成績

サッカー (女子) ベスト8

ラグビー 男女ともベスト4

陸上競技 銀メダル2、銅メダル3

※総メダル獲得数 64個・4位



●英国パラリンピック代表チーム

・スケジュール

陸上競技 8月14日 (土) ~ 30日 (月) 約90人

・大会成績

陸上競技 金メダル9、銀メダル5、銅メダル10

※総メダル獲得数 124個・2位



© Photo by Sam Mellish/Team GB © ParalympicsGB



3 事前キャンプにおける交流事業・おもてなし

●英国代表チーム公開練習

・ラグビー (男子) の公開練習 7月17日 (土)

参加者 約150人 (川崎市内ラグビースクール参加者ほか)

・陸上競技の公開練習 7月25日 (日)

参加者 約350人

(市立中学・高校、特別支援学校、市内陸上競技クラブ参加者ほか)



●市内小・中・高校生とのビデオ交流

・英国代表チームに向けたビデオメッセージを送付

・英国代表チームの選手からお礼のビデオメッセージが届いた。



●市立田島支援学校と連携した移送用バスの提供

・英国パラリンピック選手・スタッフの移送用に、スクールバス (福祉バス) を貸与

・パラ陸上選手からお礼のメッセージ動画とサイン入りシャツが届くなど、コロナ禍で間接的な交流を実現



●英国代表チーム川崎キャンプ推進協議会によるおもてなし

・等々力陸上競技場メインスタンド・エントランス内に「夏に咲く桜」、「水引作品」、「きもの (振袖・花結び)・羽織れるきもの」を展示

・選手・スタッフにホストタウンフレーム切手、水引ストラップ、生田の天然水 (恵水) 等をプレゼント



●広報・競技場周辺及び内部の装飾

・各区役所等での英国関連写真巡回展 (2021年6月~8月)

・JR南武線ヘッドマーク・側面ラッピング (2020年3月~2021年9月)

・市内主要駅構内でのポスター掲出、JR南武線・鶴見線全編成の窓上ポスターの掲出等 (2021年7月~9月)

・等々力競技場周辺・競技場内にウェルカムゲート、階段ラッピング、横断幕、バナーフラッグなどを掲出 (2021年7月~9月)

・競技場エントランス、競技場前広場、中央園路グリーンベルト内にイングリッシュガーデンを模した英国歓迎の植栽「みどりのおもてなし」を展開 (2021年6月~9月)



英国ホストタウンにおける今年度の主な取組について②

英国事前キャンプ受入れの概要

4 市民ボランティア等の活動

●英国代表チーム川崎キャンプサポーターによる活動とおもてなし

118名のボランティアによるおもてなしやサポートが、英国選手やスタッフに大好評！！

主なサポート

- ・車両ゲート管理
- ・用具の運搬・設置
- ・通訳・翻訳、
- ・補助競技場移動補助など



主なおもてなし

- ・お出迎え・お見送り
- ・サインボード設置
- ・ネームカード作成
- ・折り紙プチギフト制作など



●今後のボランティア等への情報発信

- ・サポーターをはじめ、オリ・パラ室の事業に貢献したボランティア及び企画参加者等約600人を対象に、これまでの間、継続的な情報発信の機会を提供し、2月末で活動を終了した。
- ・事前キャンプを振り返る座談会を2月20日に開催し、サポーター有志が参加。代表者が同日実施の「かわさきパラムーブメントフォーラム」にて結果報告を行った。
- ・希望するサポーター等に今後も市の情報を発信するほか、SNSを通じて、サポーター有志もオンラインコミュニティを設置



選手が、SNSを通じて
KAWASAKIを世界に発信！



英国事前キャンプ受入れ終了後の取組

●大会終了後の広報

- ・事前キャンプに参加した英国オリンピック・パラリンピック代表チームの選手名鑑を作成（2021年12月）
- ・等々力緑地内の市民ミュージアム仮囲いに、東京2020大会での英国代表チームの結果や事前キャンプの様子に関する装飾を実施（2021年12月）
- ・等々力陸上競技場前の広場に、事前キャンプの期間や競技、メダル獲得数を刻んだ記念プレートを設置（2022年2月）
- ・記念巡回展「KAWASAKI is GREAT」を市内商業施設など7区17施設で開催（2022年1月～3月）



選手名鑑



市民ミュージアム仮囲い装飾



記念プレート



生田緑地東口ビジターセンターでの展示



川崎市国際交流センターでの展示



ラゾーナかわさきプラザでの展示

●アーカイブ動画の制作、配信

- ・代表選手の真剣なトレーニング風景や、ボランティアのおもてなしの様子など、密着取材により記録したアーカイブ映像（長編1、短編3）を制作、YouTubeの川崎市公式チャンネルのほか、ダイジェストは市内公共施設デジタルサイネージなどで配信



●記録誌の発行

- ・本市の公式記録として、事前キャンプ受入れの経緯から受入れ終了までの約6年間に渡る取組の主要事項に関する情報を体系的にまとめる（3月末発行予定）。
- ・A4判、フルカラー120ページ
- ・発行後、関係者へ送付するとともに、図書館など市内公共施設へ配架、市ホームページ等でも閲覧可能



「かわさきパラムーブメント」の全市的推進

● かわさきパラムーブメントの推進体制

- 各局区が主体となって推進するためにレガシー検討プロジェクト会議による検討
- レガシー検討プロジェクト会議における有識者との意見交換の実施

● レガシー形成に向けた取組

- バリアフルレストランの実施（新規）
- 合理的配慮の提供に向けた取組の実施（新規）
- パラスポーツコンシェルジュの設置（新規）
- かわさきパラムーブメントの意識調査（継続）
- eスポーツ出張体験会の実施（継続）
- 市有施設のバリアフリー化の推進（継続）
- パラスポーツやってみるキャラバン（継続）
- パラアートの推進（継続）
- アート・フォー・オールに向けた取組の推進（継続）
- 商店舗等におけるかわさきパラムーブメント実践事業（継続）など

● プロモーション

- パラリンピアン交流教室（新規）
- かわさきパラムーブメントのブース出展（継続）
- パラムーブメントグッズの活用（継続）
- 市民向けパンフレットの改訂（新規）
- ホームページの改修（新規）



パラムーブメントグッズ



市民向けパンフレットイメージ
(参考:第2期推進ビジョンパンフレット)



ブース出展イメージ

(参考:令和元年度開催のかわバラ)

● その他

- 遠隔通訳（多言語及び手話）サービスの実施（継続）

共生社会ホストタウン関連事業

● 英国オリンピック及びパラリンピック代表チーム事前キャンプ受入を契機とした英国との交流事業

- ブリティッシュ・スクール・イン東京との交流イベント（新規）
- 英国パラ陸上選手との交流事業（新規）



交流事業

● ブリティッシュ・カウンシルとの連携事業

- ドレイク・ミュージック等と連携した取組（継続）

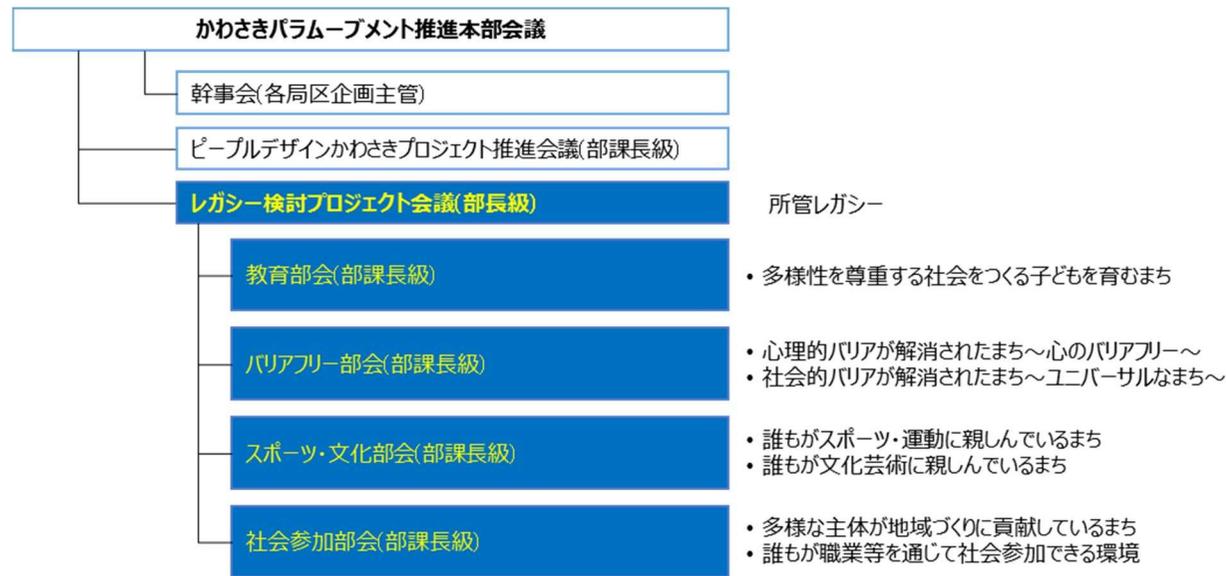


中央支援学校でのワークショップ

今後のかわさきパラムーブメントの庁内推進体制について

1 庁内推進体制

- ・ 全庁的な推進体制として、かわさきパラムーブメント推進本部会議(局長級)を設置していますが、各所属が主体的にレガシー形成に向けた取組を推進するため、本年 1 月にその配下に「レガシー検討プロジェクト会議」と比較的關係性の近いレガシーでグルーピングした部会を設置して、これまでの取組の検証とともに新たな取組を創発するための検討を始めています。
- ・ また、検討に際して、各レガシーに関する有識者の方に助言をいただくため各部会への参画や、多様な主体と取り組むためにステークホルダーとしての団体や関係者を交えての検討を予定しています。



2 組織体制

- ・ かわさきパラムーブメントに係る意識調査では、55.6%の方が東京パラリンピックを TV 等で観戦し、そのうち 51.0%の方が、障害者に対する理解や意識の変容があったと回答しています。
- ・ こうした東京 2020 大会による共生社会に向けた機運の高まりや、これまでの取組を踏まえ、**かわさきパラムーブメント推進ビジョンに基づく「多様性と社会的包摂に関するレガシー」の形成に向けた取組をより一層全庁的に推進するため、オリンピック・パラリンピック推進室は廃止しますが、新たに市民文化局にパラムーブメント推進担当（担当部長①、担当課長①、担当係長②、職員①）を設置します。**

